

東北地方 1 か月予報

(1 0 月 2 7 日から 1 1 月 2 6 日までの天候見通し)

平成 1 9 年 1 0 月 2 6 日
仙台管区气象台発表

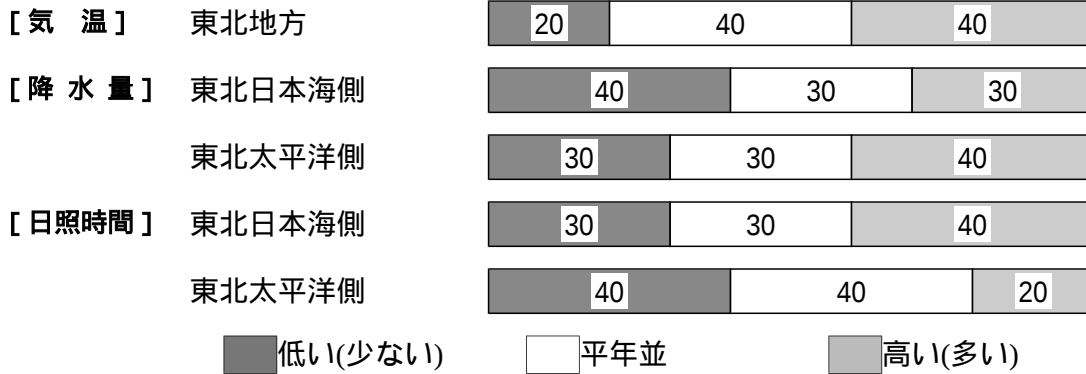
< 予想される向こう 1 か月の天候 >

向こう 1 か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて曇りや雨の日が多い見込みです。

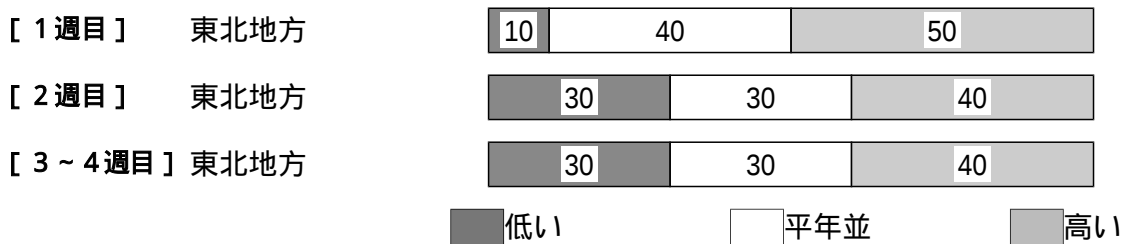
向こう 1 か月の平均気温は、平年並または高い確率がともに 4 0 % です。日照時間は、東北太平洋側で平年並または少ない確率がともに 4 0 % です。

週別の気温は、1 週目は高い確率が 5 0 % です。

< 向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%) >



< 気温経過の各階級の確率 (%) >



< 予報の対象期間 >

1 か月 : 1 0 月 2 7 日 (土) ~ 1 1 月 2 6 日 (月)
1 週 目 : 1 0 月 2 7 日 (土) ~ 1 1 月 2 日 (金)
2 週 目 : 1 1 月 3 日 (土) ~ 1 1 月 9 日 (金)
3 ~ 4 週 目 : 1 1 月 1 0 日 (土) ~ 1 1 月 2 3 日 (金)

< 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 1 1 月 2 日
3 か月予報 : 1 1 月 2 2 日 (木) 1 4 時

< 参考資料（ 平年並の範囲等 ） >

（ １ ） 30 年平均値（ 向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温 ）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温()		
				1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
青森	7.4	134.4	103.6	9.8	8.5	6.2
深浦	8.4	153.6	82.1	10.7	9.5	7.3
むつ	7.2	118.8	118.8	9.5	8.2	6.0
八戸	7.6	70.1	146.1	9.9	8.6	6.4
秋田	8.5	187.6	97.2	10.8	9.6	7.4
盛岡	6.6	99.1	127.2	8.9	7.6	5.5
大船渡	9.1	110.8	146.2	11.2	10.1	8.0
宮古	8.6	88.5	153.9	10.6	9.5	7.6
仙台	10.0	72.7	149.2	12.2	11.0	8.9
石巻	9.2	72.9	156.7	11.5	10.3	8.1
山形	8.0	80.3	109.2	10.3	9.0	7.0
新庄	7.1	196.5	71.9	9.4	8.1	6.1
酒田	9.8	222.8	93.4	12.0	10.8	8.8
福島	9.8	67.4	137.6	12.0	10.8	8.8
若松	7.9	76.0	97.6	10.1	8.9	6.8
白河	8.4	68.2	152.6	10.6	9.5	7.4
小名浜	11.6	95.5	166.0	13.6	12.5	10.6

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（ ２ ） 1971 ～ 2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（ 比 ）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4 ～ +0.6	81 ～ 110	96 ～ 104
東北日本海側	-0.3 ～ +0.5	93 ～ 107	94 ～ 105
東北太平洋側	-0.4 ～ +0.6	69 ～ 115	96 ～ 104

（ ３ ） この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.7 ～ +0.8	-0.6 ～ +0.6	-0.5 ～ +0.5
東北日本海側	-0.7 ～ +0.8	-0.6 ～ +0.7	-0.4 ～ +0.4
東北太平洋側	-0.7 ～ +0.8	-0.6 ～ +0.6	-0.5 ～ +0.6

< 参考資料（ 利用上の注意 ） >

（ １ ） 気温（ 降水量 ）等は、「低い（ 少ない ）」「平年並」「高い（ 多い ）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971 ～ 2000 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（ それぞれ 3 3 % ）となるように決めてあります（ 気候的出現率と呼びます ）。

（ ２ ） 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 1 0 % 以下や 6 0 % 以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（ 3 0 %、4 0 % ）の確率しか付けられません。

（ ３ ） 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（ 少ない ）場合は「平年に比べて多い（ 少ない ）」、また平年の日数と同程度に多い（ 少ない ）場合には「平年と同様に多い（ 少ない ）」と表現します。なお、単に多い（ 少ない ）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（ 少ない ）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 19 年 10 月 26 日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月 (10 月 27 日～11 月 26 日) :

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて曇りや雨の日が多い見込みです。

平均気温は平年並または高い確率がともに40%です。

1 週目 (10 月 27 日～11 月 2 日) :

この期間、気圧の谷の影響で曇りの日が多く、雨の降る日があるでしょう。期間の中頃は、高気圧におおわれて晴れるところがある見込みです。

平均気温は高い確率が50%です。

2 週目 (11 月 3 日～11 月 9 日) :

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

3～4 週目 (11 月 10 日～11 月 23 日) :

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年に比べて晴れの日が多く、東北太平洋側は平年に比べて曇りや雨の日が多い見込みです。

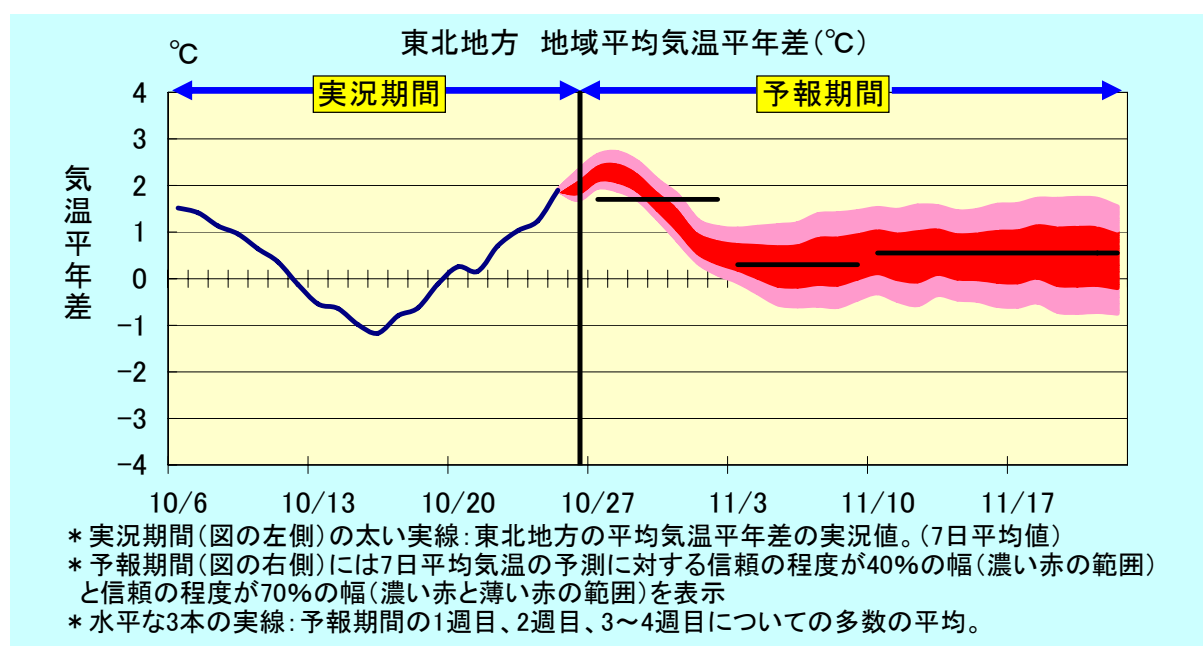
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	9.7 日	2.7 日	3.1 日	3.9 日
東北太平洋側	16.6 日	4.1 日	4.4 日	8.1 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1 週目は平年を大きく上回り、2 週目は平年並付近、3～4 週目は平年をやや上回る予想となっている。

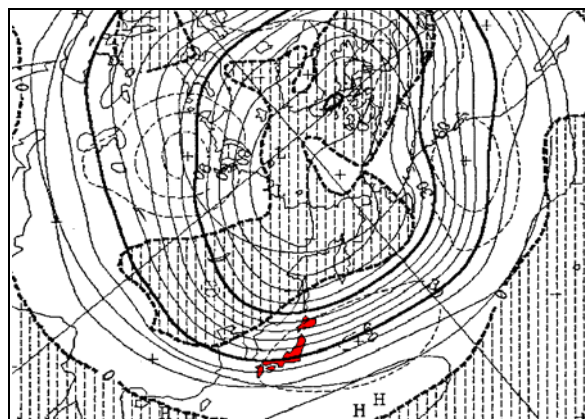


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

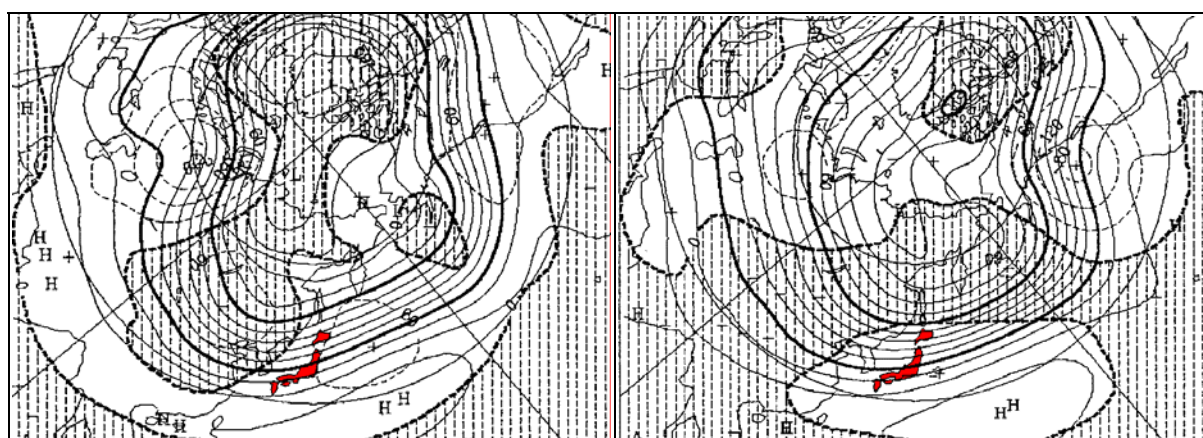
1か月平均: 日本付近は東海上を中心に強い正偏差。日本の西は負偏差で西谷傾向。このため、東北地方は気温が高く、低気圧や前線の影響を受けやすい。東北太平洋側では、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込み。

1週目: 日本の東海上が正偏差、日本の西が負偏差の西谷傾向。このため、東北地方は気温が高く、低気圧や前線の影響を受けやすい。

2週目: 1週目に比べ、日本の東の正偏差は弱まり、西谷傾向も弱まる。等高線は東西に寝た形になり、低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わる見込み。



1か月平均 500hPa 予想天気図
(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし平年差の間隔は 30m 毎)

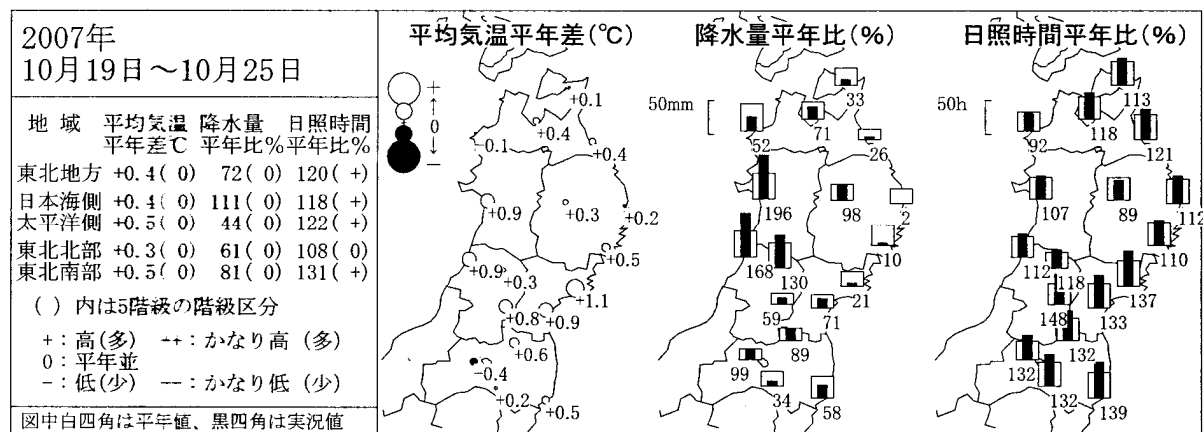


1週目平均 500 h Pa 予想天気図 2週目平均 500 h Pa 予想天気図
実線は、等高線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）
陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間（10月19日～10月25日）の天候の経過

この期間、前半は寒冷前線や寒気の影響で東北日本海側や東东北部を中心に曇りや雨の日が多かった。後半は移動性高気圧におおわれ、おおむね晴れた。一時寒気が入ったため、21、22日は吾妻山や蔵王山などで初冠雪が観測され、24日は若松で初霜（平年より4日早い）、初氷（平年より13日早い）を観測した。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北地方で平年並。日照時間は東东北部で平年並、東北南部で多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）